

全農 営農管理システム **Z-GIS** 全農 営農管理システム

Special Campaign

Z-GIS みんなで始めようキャンペーン

圃場情報の電子化・見える化

令和2年12/1 ▶ 令和3年3/31

期間限定

入会后、最長4カ月間
利用料が無料

まずは検索！

全農 Z-GIS | X Q 検索

The banner features a background image of a green agricultural field with a computer monitor in the foreground displaying a colorful data grid. A hand cursor is pointing at the search button in the search bar.

圃場情報の電子化とクラウド活用で、効率的な営農管理を実現できます。

動画

基本操作編



動画はこちら

お問い合わせ JA営農振興課 ☎34-4001
JA全農いわて 営農技術課 ☎019-638-6982

営農情報

生産資材
ひろば

子牛の防寒対策

これから寒さが厳しい季節を迎えます。子牛の適温は13～25℃で、冬は熱を作り出すエネルギーが大きくなるため、発育に必要なエネルギーが不足してしまいます。防寒対策をしっかりと行い、寒冷ストレスによる発育のロスを減らしましょう。

◎ 子牛が寒さに弱い原因

- ・ 親牛に比べて体脂肪が少なく被毛も薄い
- ・ 体重が小さい割に体表面積が広いいため熱発散が多い
- ・ 第1胃（発酵槽）が未発達のため体内から熱発生が少ない

◎ 対策

- ① 防寒ベストやネックウォーマーなどで、保温に努めましょう。
- ② 暖房器具（遠赤ヒーターやハロゲンランプなど）で子牛を温めましょう。
- ③ 敷料交換の回数を増やして乾燥を保ち、敷料の量も増やして保温効果を高めましょう。
- ④ 隙間風を防ぎましょう。
- ⑤ 飲み水を温水にしましょう。
- ⑥ 子牛に十分な栄養を与えましょう。
- ⑦ 保温と同時に換気も両立させることがポイント。牛舎を閉め切ったままにしていると湿気やアンモニア臭がこもり、ほこりや細菌が増加します。アンモニア臭は子牛の呼吸器にダメージを与え細菌等に感染しやすくなります。そのため、子牛になるべく直接風が当たらないようにしながら、日中の暖かい時間に換気を行いましょう。こまめにふん尿処理を行いアンモニア臭の発生を抑えることも大切です。